

令和 2年度 事務事業評価シート (令和 1年度分)

(令和 2年 7月 作成)

1 事務事業の基本事項				整理番号	313000-01-01
事務事業名	自動車燃料費助成事業			担当部課	福祉部 障害者支援課
				電話番号	04-2964-1111 内線 1331
総合計画 基本計画	施策の大綱	03	ささえあいのまちづくり	実施期間	昭和54年 ~ 年
	政策(節)	05	障害者支援の推進	その他の計画	入間市障害者福祉プラン
	施策(項)	02	生活支援の推進		
予算事業名	自動車燃料費助成事業			予算事業番号	681
事務分類	<input type="checkbox"/> 自治事務のうち義務的なもの <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務のうち任意のもの <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> サービス提供 <input type="checkbox"/> 施設整備 <input type="checkbox"/> 許認可事務 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 施設維持管理 <input type="checkbox"/> 内部事務 <input type="checkbox"/> その他				
	実施形態 <input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・負担 <input type="checkbox"/> その他 ()				
事業開始の背景・経緯	重度心身障害者の経済的負担の軽減と生活の利便を図るため、昭和54年に事業が開始される。 ・現在の助成内容 対象者 身障1・2級・知的○A・A、助成額 ガソリンは1リットルにつき55円、軽油は1リットルにつき35円、石油ガスは1リットルにつき25円【それぞれ1か月に50リットルを限度(自動二輪車・原動機付自転車は10リットルを限度)】				

2 事務事業の目的・内容			
対象	重度心身障害者	実施の根拠 (法令・条例等)	入間市重度心身障害者自動車等燃料費助成に関する要綱
目的 (もたらそうとする成果)	重度心身障害者の生活のために使用する自動車、自動二輪車及び原動機付自転車の運行に伴う費用の一部を助成することにより、重度心身障害者の経済的負担の軽減と生活の利便を助長し、もつて福祉の増進を図ることを目的とする。		
全体の事業内容	重度心身障害者やその家族等が障害者本人のために使用する自動車等の燃料費の一部【ガソリンは1リットルにつき55円、軽油は1リットルにつき35円、石油ガスは1リットルにつき25円とし、それぞれ1か月に50リットルを限度とする(自動二輪車・原動機付自転車は10リットルを限度とする)】について、対象者からの請求に基づき助成している。		

3 事務事業の実施状況と成果			
令和 1年度の実施内容	障害者に対し、ガソリンは1リットルにつき55円、軽油は1リットルにつき35円、石油ガスは1リットルにつき25円、それぞれ1か月に50リットルを限度で助成した。(自動二輪車・原動機付自転車は10リットル)		

区分	活動指標名	区分	単位	平成29年	平成30年	令和 1年	令和 2年	目標値の根拠・考え方 (前年度値の場合は「前年度実績」)
実施状況	① 助成対象登録者数	目標値又は前年度値	人	1,154	1,169	1,180	1,170	前年度実績
		実績値	人	1,169	1,180	1,170		
		達成率又は前年度比	%	101.3	100.94	99.15		
	② 年間利用者延べ人数	目標値又は前年度値	人	12,531	11,567	11,543	11,307	前年度実績
		実績値	人	11,567	11,543	11,307		
		達成率又は前年度比	%	92.31	99.79	97.96		
	③ 助成総額	目標値又は前年度値	千円	29,228	26,657	26,380	25,572	前年度実績
		実績値	千円	26,657	26,380	25,572		
		達成率又は前年度比	%	91.2	98.96	96.94		
	④	目標値又は前年度値						
		実績値						
		達成率又は前年度比	%					
区分	成果指標名	区分	単位	平成29年	平成30年	令和 1年	令和 2年	目標値の根拠・考え方 (前年度値の場合は「前年度実績」)
成果	① 助成対象登録者1人当たりの助成額	目標値又は前年度値	円	25,328	22,803	22,356	21,856	前年度実績
		実績値	円	22,803	22,356	21,856		
		達成率又は前年度比	%	90.03	98.04	97.76		
	②	目標値又は前年度値						
		実績値						
		達成率又は前年度比	%					

※無印は実績値の増大によって達成率が向上するもの
 ※印は実績値の減少によって達成率が向上するもの

4 事業費

区 分			平成29年	平成30年	令和 1年	令和 2年	
経 費	事業費	当初予算額	27,328 千円	27,328 千円	26,381 千円	25,573 千円	
		決算(見込)額 ①	26,657 千円	26,381 千円	25,573 千円		
	人件費	従事 職員数	一般職・労務職	0.2 人	0.2 人	0.26 人	
			嘱託・再任用	0 人	0 人	0 人	
			パート等	0.49 人	0.54 人	0.39 人	
		人件費 ②	2,825 千円	2,696 千円	2,074 千円		
	総事業費 ③=①+②		29,482 千円	29,077 千円	27,647 千円		
	国・県支出金 ④		0 千円	0 千円	0 千円		
	その他特定財源 ⑤		0 千円	0 千円	0 千円		
	特定財源 ⑥=④+⑤		0 千円	0 千円	0 千円		
入間市年間負担額 ③-⑥		29,482 千円	29,077 千円	27,647 千円			
効率性 指 標	指標名	助成対象登録者数 ⑦	1,169 人	1,180 人	1,170 人		
	コスト	1人当たりの事業費 ③÷⑦	25,219 円	24,641 円	23,629 円		
備 考							

5 事務事業の評価

◆ 1次評価

個別評価	必要性	有効性	効率性
	<input checked="" type="checkbox"/> 必要不可欠 <input type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い	<input type="checkbox"/> 大変有効である <input type="checkbox"/> 有効である <input checked="" type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> あまり有効でない <input type="checkbox"/> 有効でない	<input type="checkbox"/> 向上 <input type="checkbox"/> やや向上 <input checked="" type="checkbox"/> 変わらない <input type="checkbox"/> やや悪化 <input type="checkbox"/> 悪化
総合的評価	評 価		今 後 の 方 向 性
	障害者の移動手段を保障することは、障害者の社会生活圏拡大のため重要である。自動車燃料費助成については、対象者が高齢化しており、免許を返戻しているようなこともあるが、昨年とほぼ同数の登録者であり、公共交通機関を利用しづらい障害者にとって、今後も有効なものとする。		<input type="checkbox"/> 充実 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <hr/> <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 完了・終了
改善課題	令和 1年度の取り組み課題		改 善 の 評 価
	障害者の移動手段の確保や社会生活圏の拡大、経済的負担の軽減を図るためのサービスについて、全体としてどのようなバランスを取っていくか引き続き研究していく。また、サービス利用者の利便性や事務の効率化を考慮し、他市の状況を踏まえながら給付方法の見直しを検討していく。		<input type="checkbox"/> 改善できた <input type="checkbox"/> やや改善できた <input checked="" type="checkbox"/> 改善できなかった
	令和 2年度の取り組み課題		
	障害者の移動手段の確保や社会生活圏の拡大、経済的負担の軽減を図るためのサービスについて全体として、福祉タクシー券とのバランスも考え引き続き研究していく。また、サービス利用者の利便性や事務の効率化を考慮し、他市の状況を踏まえながら利用しやすい給付方法の見直しを検討していく。		
令和 3年度の取り組み課題			
障害者の移動手段の確保や社会生活圏の拡大、経済的負担の軽減を図るためのサービスについて、全体としてどのようなバランスを取っていくか、引き続き研究していく。			

◆ 2次評価

総合的評価	今後の方向性	具体的内容
	<input type="checkbox"/> 充実 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <hr/> <input type="checkbox"/> 廃止・休止	重度心身障害者の移動手段の確保のため、自動車燃料費の助成は重要な取り組みの一つである。課題としている給付方法の見直しを含め、早急に近隣市の状況を調査し、助成水準の適正化や事務の効率化を図るとともに、障害者の移動手段の確保について、多角的な視点から制度の全体設計を検討する必要がある。